

館外イベント 2014 年度

平和祈念展示資料館

2014年度

2015年3月30日

平成26年度の館外イベントはすべて終了しました。
これらのイベントの様子は、[レポートページ](#)をご覧ください。

2014年11月12日

特別展示「シベリア抑留を描く－二人の画家展
Vol.2 [勝山俊一・田中武一郎]」
日時：平成27年1月27日(火)～2月2日(月)午前10時
～午後7時
会場：九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー



2014年8月26日

平和祈念展 in 千葉
日時：平成27年1月14日(水)～1月18日(日) 午前9
時～午後6時 (最終日は午後5時まで)
会場：Qiball[きぼーる] 1階 アトリウム



2014年7月12日

夏休み3館めぐりスタンプラリー
期間：平成26年7月19日(土)～8月31日(日)
場所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館



2014年7月8日

平和祈念展 in 静岡
日時：平成26年11月19日(水)～11月23日(日・祝)
午前10時～午後5時30分
会場：静岡市民ギャラリー 第1展示室・第2展示室



2014年4月23日

平和祈念展 in 佐賀
日時：平成26年10月1日(水)～10月19日(日) 午前
9時30分～午後6時(最終日は午後2時まで)
会場：佐賀県立博物館 3階 2号展示室



平和祈念展 in 佐賀

時代を越えて引き継ぐ想い

兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の苦しくつらい体験を物語る実物資料などの展示を通して、体験者の想いを引き継ぎます。



日時 平成26年10月1日(水)～10月19日(日)

午前9時30分～午後6時

(最終日は午後2時まで)

休館日：10月6日(月)、10月14日(火)

会場 佐賀県立博物館 3階 2号展示室

佐賀県佐賀市城内1-15-23

入場料 無料

後援 佐賀県／佐賀県教育委員会／佐賀市／佐賀市教育委員会

特別協力 佐賀県立博物館／佐賀県立美術館

出展数 約190点

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 佐賀」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、佐賀県出身の早田貫一氏の絵画を特別に展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『酷寒の地シベリアを描く 早田貫一抑留絵画展』

佐賀県出身の早田貫一氏は、昭和18(1943)年に学徒出陣し、満州(現・中国東北部)で終戦を迎えました。ソ連軍による武装解除の後、シベリアの収容所で約3年間に及ぶ抑留生活を送り、昭和23(1948)年に帰国を果たしました。帰国後は英語教師として勤めるかたわら、風景画や自身の抑留体験を水彩で描き、多くの作品を残しています。

この特別展示では、当資料館が所蔵する抑留生活を描いた早田氏の作品を紹介します。

※右の画像は《シベリアへ》



同時開催 昭和館 巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』の暮らし」

昭和館主催の巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』の暮らし」が佐賀県立博物館内で同時開催されます。

日時：平成26年10月1日(水)～10月19日(日)

午前9時30分～午後6時(最終日は午後2時まで)

休館日：10月6日(月)、10月14日(火)

会場：佐賀県立博物館 3階 3号展示室

入場料：無料

詳しくはこちら

平和祈念展 in 静岡

時代を越えて引き継ぐ想い

兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の苦しくつらい体験を物語る実物資料などの展示を通して、体験者の想いを引き継ぎます。

日 時 平成26年11月19日(水)～11月23日(日・祝)

午前10時～午後5時30分

会 場 静岡市民ギャラリー 第1展示室・第2展示室

(静岡市役所 静岡庁舎 本館1階)

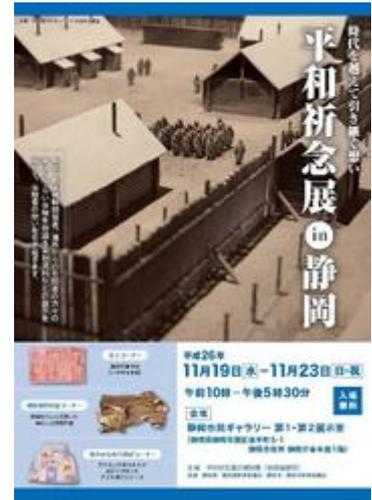
静岡県静岡市葵区追手町5-1

入場料 無料

後 援 静岡県／静岡県教育委員会／静岡市／静岡市教育委員

会

出展数 約180点



平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 静岡」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、静岡県ゆかりの資料を特別に展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『静岡県ゆかりの資料』

旧静岡市出身の陸軍少年飛行兵が身に付けていた「飛行眼鏡」、田方郡上大見村(現・伊豆市)に住む家族へ抑留されていた男性が宛てた「俘虜用郵便葉書」、志太郡六合村(現・島田市)へ中国の天津から一家で引き揚げたことを示す「退去証明書」など、静岡県にゆかりのある資料を展示します。

また、釜山日本人世話会のメンバーとして引揚者の帰還に尽力し、後年を静岡県で過ごした故・三宅一美氏が、引揚港での帰国を待つ人々の様子などを撮影した貴重な写真も展示します。

※右の画像は《飛行眼鏡》



臨時召集令状 (いわゆる赤紙)



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套

夏休み3館めぐりスタンプラリー

戦中・戦後の労苦を語り継ぐ

平和祈念展示資料館では、夏休みにあわせ「夏休み3館めぐりスタンプラリー」を実施します。

戦中・戦後の労苦を語り継ぐ「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」の3つの館をめぐる、オリジナルグッズを手に入れましょう。

期 間：平成26年7月19日（土）～8月31日（日）

場 所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館

参加方法：いずれかの館でスタンプラリーの台紙を受け取り、3つの館のスタンプを集めて、最後の館でオリジナルグッズと交換してください。

[昭和館の情報はこちら](#)

[しょうけい館の情報はこちら](#)



平和祈念展 in 千葉

時代を越えて引き継ぐ想い

兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の苦しくつらい体験を物語る実物資料などの展示を通して、体験者の想いを引き継ぎます。

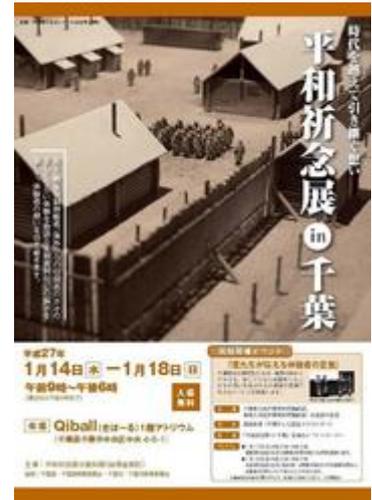
日 時 平成27年1月14日(水)～1月18日(日)
午前9時～午後6時
(最終日は午後5時まで)

会 場 Qiball[きぼーる] 1階 アトリウム
千葉県千葉市中央区中央4-5-1

入場料 無料

後 援 千葉県／千葉県教育委員会／千葉市／千葉市教育委員会

出展数 約190点



平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 千葉」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、漫画家たちが引揚げ体験を描いた作品を特別に展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『子どもたちの引揚げ－引揚げ漫画作品展』

子どもたちの引揚げをテーマに漫画家たちが自らの体験を描いた作品を展示します。昭和20年（1945）年8月15日に終戦を迎え、満州（現・中国東北部）で暮らしていた日本人の生活は暗転します。多くの人が、持てるものをリュックに詰め、上の子は下の子の手をとって、はるか遠い日本を目指して引揚げの途につきました。当時子どもだった漫画家たちが思い出を描いた作品を通して、満州の生活や引揚げの労苦を紹介します。是非ご家族でご覧ください。

※右の絵は《でっかいリュックを背負ってかあちゃんにしっかりとつかまって》 © 赤塚不二夫



同時開催イベント 「僕たちが伝える体験者の言葉」

千葉県内の高校生たちが、戦争が終わってからも、苦しくつらい体験をした人たちの想いを自分たちの表現や言葉で伝えるイベントを実施します。

出 演

千葉県立松戸高等学校演劇部、
専修大学松戸高等学校演劇部・社会部の生徒

司 会

西田朱里（千葉テレビ放送アナウンサー）



プログラム

平成27年1月17日(土) 午後2時～3時

演劇部の生徒たちが、体験者の労苦を綴った手記を朗読します。

平成27年1月18日(日) 午後2時～3時

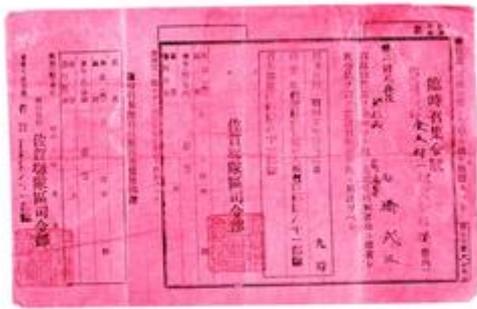
社会部の生徒たちが、満州（現・中国東北部）からの引揚者を取材し、体験者の労苦について考えたことを伝えます。

※右上の写真は昨年の専修大学松戸高校の様子

会場

「平和祈念展 in 千葉」会場内イベントコーナー

※事前申し込みは不要ですので、自由にご参加ください。（入場無料）



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース

平和祈念展 in 千葉 平成27年 1月14日(金)～1月18日(日)

平和祈念展 in 千葉 実行委員会 主催、平和祈念展 in 千葉実行委員会 協賛、平和祈念展 in 千葉実行委員会 協賛、平和祈念展 in 千葉実行委員会 協賛

※本展覧会では、体験者の労苦を綴った手記を朗読します。体験者の労苦について考えたことを伝えます。

入場料 無料

観覧時間 10時～17時

会場 平和祈念展示資料館 (千葉市中央区新大塚1-1-1)

アクセス 千葉駅より徒歩10分

駐車場 平和祈念展示資料館 駐車場 (無料)

お問い合わせ 平和祈念展示資料館 (043-523-8700)

平和祈念展示資料館 (協賛者委託)

平和祈念展 in 千葉チラシ

特別展示「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2 [勝山俊一・田中武一郎]」

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、各地で展示会などを開催しています。

今回は、特別展示として、九段生涯学習館 九段ギャラリーにて「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2 [勝山俊一・田中武一郎]」を開催します。

シベリア抑留体験者である勝山俊一氏と田中武一郎氏のお二人が労苦体験をもとに描いた水彩画作品など43点を紹介します。



日時 平成27年1月27日(火)～2月2日(月)
午前10時～午後7時

会場 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー
東京都千代田区九段南1-5-10

入場料 無料

協力 昭和館／しょうけい館

■■ギャラリートーク■■

勝山俊一氏のご家族を迎えてギャラリートークを実施します。

学芸員が、展示の見どころや作品にまつわるエピソードを紹介します。

日時：1月31日（土）午後2時～（約30分）

■■昭和館・しょうけい館との連携企画■■

今回の特別展示に合わせて、同じ九段下エリアにある昭和館・しょうけい館で関連した企画を行います。

昭和館ではシベリア抑留体験者の帰国に関するニュース映画の上映などのほか、体験者の手記や画文集などを公開します。しょうけい館では抑留中の労働で受けた怪我や発症した病気などの労苦に関する証言映像の上映のほか、体験者の関連図書を紹介します。

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館の情報は[こちら](#)

【勝山俊一(かつやましゅんいち)氏プロフィール】

明治45(1912)年、京都府生まれ。

昭和3(1928)年、京都工学校建築科を卒業。

昭和17(1942)年、30歳のときに陸軍技手として、満州（現・中国東北部）へ。

昭和20(1945)年、ソ連（現・ロシア）西部のエラブカに抑留され、昭和

22（1947）年に復員。

昭和24(1949)年、萩原デザイン事務所に所属。

昭和54(1979)年、『ソ連抑留スケッチ集』を発行。

平成2(1990)年没。享年77歳。

※画像は《鉄道工事》勝山俊一



【田中武一郎(たなかぶいちろう)氏プロフィール】

明治41(1908)年、広島県生まれ。

大正12(1923)年頃から、『キネマ旬報』等の雑誌にモダンなカットを投稿。

昭和10(1935)年、上京して独学で絵を学び、『光の家』のカットや版画を描き始める。

昭和19(1944)年、36歳のときに召集され、満州(現・中国東北部)へ。

平成20(1945)年、ソ連（現・ロシア）南部のアバカンに抑留され、昭和22（1947）年に復員。

昭和48(1973)年没。享年64歳。

昭和56(1981)年、『生きて祖国へ(3)シベリアの悪夢』の口絵に作画が収録される。

※画像は《日暮れ》田中武一郎

